



JANOG7パネル
新世紀 ブロードバンド
ネットワーク時代を考える

2000.12.21

パネルコーディネータ

荒野高志

NTTコミュニケーションズ

2000/12/21

JANOG7 Panel



パネリスト

- ◆ パネリスト:
 - 沖本 忠久 (NTTスマートコネク)
 - 南 佳成 (クレイフィッシュ)
 - 岡本 久典 (イー・アクセス)
 - 石井 秀雄 (グローバル・クロッシング・ジャパン)
- ◆ コーディネーター:
 - 荒野 高志 (NTTコミュニケーションズ)

背景

◆ 技術的背景

- アクセスネットワークの速度と質の変革
 - ブロードバンド化
 - 常時接続
 - アクセスのマルチサービス化
- バックボーン
 - 大容量化
 - ATMからSONET/SDH、さらに光へ

◆ ビジネス的背景

- データセンタ／ASPの充実
- ファイバービジネスの台頭





新しい応用

- ◆ Audio/Visualサービス
 - コンテンツの配信サービス
 - TV電話・会議
- ◆ IPv6
 - デジタル家電などのネットワーク化
 - モバイル端末のインターネット接続
- ◆ QoSなどネットワークへの要求がますます多様化

議論

- ◆ 今から2～3年後までを議論の対象とする
 - コンシューマアクセスはT1クラスを想定。映像で言えばMPEG1程度
- ◆ 今後のブロードバンド常時接続アプリケーション？
- ◆ アクセス/バックボーンネットワークへの要求？
- ◆ 望ましいネットワークアーキテクチャ？
 - インターネットはリアルタイム映像転送に耐えるか？
 - どのようにすれば効率的かつそれなりの品質のコンテンツ配信が可能か？
 - インターネットとは別のプレーンが必要か？
 - T1規模がつみあがるとバックボーンはどうなる？



パネル手順

- ◆ イン트로ダクション 荒野
- ◆ 映像コンテンツの配信の現状と問題点 沖本
- ◆ 今後のビジネスユース・コンシューマユース 南
- ◆ アクセス系の動向とマルチサービス化 岡本
- ◆ バックボーン今後の動向 石井
- ◆ Q&Aおよび議論